



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年12月17日

No.27

児童数 75名

校長 宍戸 与一

穏やかな日が続いていますが、朝夕の寒暖の差が大きく、体調管理が難しいです。つい先日始まったような気がする2学期も、来週23日には、終業式を迎えます。

年の瀬 ～「あなたがいてくれるだけでうれしい」～

校外での学び、校外の方からの学びは、それぞれの取り組みの目標達成をめざすとともに、日頃から校内で取り組んでいる「目を見てあいさつをする」「時間を守る」「自分で考えて行動する」などが十分に発揮できるか学びの成果を試す機会でもありました。存分に発揮することができて、旅先でほめていただくこともありました。そのような場面では、子どもたちも達成感や満足感を味わうことができ、自信をもてたことでしょう。そうした姿を見ると、成長を感じうれしくなります。

一方でまだ十分にはでき切らず、課題として残ることに自ら気づいたり、先生の言葉で気づきに至ったりする場面もありました。それは、「みんながしているから…」「先生に言われたから…」など、「なぜそうするのか」の意味を自分で考えたり、意識したりすることが十分ではなかったからではないかと感じました。

一つ一つの積み重ねが子どもたちの「生きる力」となって働くのだと思います。

個別懇談、ありがとうございました。子どもたち一人一人のよりよい成長に向けた話し合いができたのではないかと思います。個別懇談で話し合われた内容を、お子さんとぜひ話し合ってほしいと思います。

同じように努力をしても、全員が同じような結果になるとは限りません。その結果が満足のいくものであってもなくても、そこに至るまでの過程を十分に認め、ほめてあげることが大切だと思います。そして、子どもの存在そのものをほめることも大切にしたいものです。「あなたがいてくれるだけでうれしい」と。存在そのものを認めることは、頭の中では分かってはいても、なかなかできないものではないでしょうか。子どもは誰かに「存在そのものを認められている」と思えるだけで、長所も短所も併せもった自分を「価値ある人間だ」という自己肯定感を育てることができます。自己肯定感の高い子どもは、他者との違いを理解し、認め、他者を思いやることもできるといわれています。

成功や優劣に関係なく、「あなたがいてだけで十分だよ」というメッセージを、私も金小の子どもたちの親になったつもりで、これからも大切に伝えていきたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新潟県の小学校でクラスターが発生し、休校になったというニュースがありました。

全国的に感染者数は減少していますが、油断はできません。これからも、気を引き締めて感染対策を継続していきます。

本校の基本対策

- ◎ 毎朝の「検温」「健康観察」の実施
- ◎ 喚起の徹底（密閉回避）
- ◎ マスク着用の徹底
- ◎ 消毒作業の実施



逆上がりシンクロ!!

昼休みの校庭。「校長先生、見てください。逆上がりシンクロです。」息ぴったり。お見事でした。



学校ポータルサイトも是非ご覧ください。